



 中道リース株式会社
環境活動レポート 2013

中道リース株式会社 環境活動レポート(2013 年度版)

当社は地球も大切なステークホルダーと位置づけ、事業活動を通じ、人と自然が支え合う社会の創造に向けた環境活動に意欲的に取り組んでいます。

経営の理念

『わが社は事業を通じ、社会の発展に貢献する。』

1. 業績を高め、株主の期待に応える。
2. 従業員の生活向上と働きがいある企業づくりをめざす。
3. 取引先との共存共栄をはかり、社会との連帯を深める。

基本方針

わが社は『経営の理念』のもと、緑豊かな地球を次世代に引き継ぐため、リース事業を幹とした金融サービスを通じ、適切な品質提供と環境保全に取り組めます。

この方針は、全役職員への周知徹底とともに、法令及び当社が同意するその他の要求事項の順守を根に適切性維持のため見直し、継続的に改善します。

品質方針

- ◎ 地域営業基盤を強化するとともに顧客サービスの継続的改善をめざします。
 - * 顧客ニーズへの適切な対応
 - * 迅速な顧客対応
- ◎ 営業資産の健全化と与信管理の充実をはかります。

環境方針

- ◎ 天然資源の枯渇防止を目的とし、循環型社会の形成に寄与します。
 - * 省資源・省エネルギー・再資源化の推進
 - * 環境汚染予防の推進

本方針書は、社内外に公表します。

2010年3月2日
中道リース株式会社

代表取締役社長

関 寛

当社では、環境パフォーマンスの取り組み項目を充実させながら、その実績と自己評価を掲載しています。今後も継続して社会貢献活動や環境保全活動を推進し、「良き企業」として適正な情報を開示していきます。自己評価の○は目標達成、△は一部達成、×は未達成を示します。

資源の枯渇の抑制と地球温暖化対策

中道リースでは、日常の業務活動で生ずる環境負荷を可能な限り低減する活動を推進しています。

【エコオフィス活動の推進】

取り組み	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
コピー用紙使用量削減(枚) 削減	500,000	497,403	△ 2,597	○
グリーン商品購入比率(%)※1 向上	40	55	15	○

(注)1.測定対象は、札幌本社のみとなっています。

2. ※1:2013年度より集計方法を商品個数から商品種類に変更しています。

【省エネ・省資源・環境汚染予防の推進状況】

取り組み	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
電気使用量削減(kw)	100,000	87,827	△ 12,173	○
電力のCO2排出量(kg-CO2)※1	50,300	45,330	△ 4,970	○
紙の消費に伴うCO2排出量削減(kg-CO2)	2,560	2,547	△13	○
総エネルギー投入量削減(Mj)※2	1,000,000	857,369	△ 142,631	○
営業車の燃費向上(km)※3	12	14.7	2.7	○
環境低負荷型車両導入(台)※4	5	14	9	○
営業車両のCO2排出量削減(kg-CO2)	40,000	35,427	△ 4,573	○
温室効果ガス排出量(kg-CO2)※5	90,000	83,303	△ 6,697	○
一般廃棄物の発生量削減(t)※6	1.9	2.4	0.5	×

(注) 1. 測定対象は札幌本社となっています。

2. ※1:電力会社公表の平均係数を基に算出

3. ※2:Mj換算した電気、営業車の合計

4. ※3:全営業車両

5. ※4:環境対応車(全社対象)

6. ※5:原換算した電気、紙、営業車の合計

7. ※6:MIXペーパー、シュレッダー、ペットボトル

【カーボンオフセットの取組み】

プロジェクト名	実施機関	オフセットの対象	CO2排出量削減値	総エネルギー投入量削減値
			(kg-CO2)	(Mj)
北海道4町連携による間伐促進型森林づくり事業	森林バイオマス吸収量活用協議会	営業車から排出されるCO2	-52,000	-782,271
サンタの森づくりプロジェクト	広尾町	本社で使用する電力から排出されるCO2	-25,000	-255,240

(注)1. カーボンオフセット対象期間は2013年1月1日～2013年12月31日となっています。

環境配慮型物件(輸送用機械)の取扱拡大

中道リースでは、資源の枯渇の抑制や地球温暖化防止に取り組んでいるお客様の設備投資(環境配慮型輸送用機械)に対し、リース契約や延払売買契約等の商品及びサービスの提供を通じて、環境に配慮した社会の構築に貢献したいと考えています。

運輸・通信業実績	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
総取扱実績(百万円) 向上	13,322	9,092	△4,230	△

輸送用機械実績	2013年度
総取扱実績(百万円)	13,094
リース取扱実績(百万円)	7,533

自動車実績	2013年度
リース取扱実績(百万円)	7,323

リース満了品の3R推進方針

リース期間が満了した物件は再リースを通じリデュース(廃棄物の抑制)に努め、返還された物件はリユース(再利用)を最優先とし、廃棄物となった場合でも適正処理にてリサイクル(再資源化)に取り組んでいます。

再リース移行率(リデュース)	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
再リース移行率(%)	64	63	98%	△

リース満了物件リユース率	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
リユース率(%)	87	86	99%	△

(注)リユース(売却件数)/リース満了件数

廃棄物件リサイクル率	2013年度目標	2013年度実績	目標対比	自己評価
リサイクル率(%)	84	94	112%	○

(注)リサイクル(Kg)/廃棄総数量(Kg)

2013年度 環境会計

I) 環境保全コスト

(単位：千円)

分類		主な取り組み内容	投資額	費用額
(1) 事業エリア内コスト			0	816
内 訳	地球環境保全コスト	環境配慮型車輛の導入		△478
		省エネ機器導入		0
		カーボンオフセット排出権購入など		1,250
	資源循環コスト	マニフェスト伝票、MIXA [®] -パ [®] -袋代金など		44
(2) 上・下流コスト			0	1,155
		グリーン商品購入		154
		リース満了物件の回収費、処理費		1,001
(3) 管理活動コスト			0	723
		環境監査費用、環境教育費用		144
		ISO14001 審査費用		296
		委託業者臨検費用など		283
(4) 社会活動コスト		自然保護事業などの活動	0	17
合 計			0	2,711

II)環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	前期(基準)	当期	環境保全効果
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー投入量(Mj)	1,002,361	857,369	144,992
	(オフセット後)	1,002,361	336,157	666,204
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO2排出量(Kg-CO2) *1	95,732	83,303	12,429
	(オフセット後)	95,732	40,623	55,109
	一般廃棄物排出量(t)	2.1	2.4	△ 0.3
	コピー用紙使用量(枚)	509,171	497,403	11,768
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	産業廃棄物(リース満了物件)最終処分量(Kg)	2,097	413	1,684

*1 電力会社公表の平均係数を基に算出

III)環境保全対策に伴う経済効果(実質的效果)

(単位：千円)

効果の内容		金額
収益	リース満了物件の売却利益	98,593
費用節減	環境配慮型車両導入、燃費向上による燃料消費削減	△ 5,190
	コピー用紙使用量削減	93
	3R推進による廃棄物処理費の削減	△ 544
	電気使用量削減	279
合計		93,231

生物多様性行動指針

私たち人間も含めた様々な生物が生まれ、それぞれがつながっている生物多様性に関する行動指針。

生物多様性行動指針

基本理念

生物多様性は、人間や動植物を含むさまざまな生物が持続する為の源であり、人間社会に様々な恩恵をもたらしてきました。それは、次世代に引き継がなければならない財産です。

中道リースは、「経営の理念」「基本方針」「環境方針」に基づき、事業活動と生物多様性との関りを認識し、様々な事業活動を通じて生物多様性の保全と持続可能な利用を推進します。

行動指針

◆環境マネジメントシステム

生物多様性を環境マネジメントシステムにおける重要な要素と位置付け、すべての事業領域で生物多様性の保全と持続的な利用に努めます。

◆コンプライアンス

「企業倫理方針」に基づき、生物多様性に関する法令などを順守します。

◆教育

全役職員に対し、生物多様性に関する知識・法令などの教育を通して、理解の促進と意識の向上に努めます。

◆事業活動における取り組み

省資源・省エネルギー・再資源化・グリーン調達・環境汚染予防の推進など、「環境方針」に基づいた環境活動によって、生物多様性への環境負荷の低減に努めます。

【植樹活動】

中道リースでは森づくりを通じて、地域の生物多様性の保全に取り組んでいます。

活動日：2013年6月21日

活動場所：北海道当別町「道民の森」

活動内容：北海道石狩振興局様のご指導の下、苗木を丁寧に植えていき白樺、エゾ松・トド松・ミズナラの苗木約60本を植樹しました。広大な牧野跡地に栽植を行い、豊かな森へと復元していくことを目的に活動しています。

その他の環境負荷対策

【森林づくりパートナーズ基本協定を調印】

平成23年5月11日に、「森林バイオマス吸収量活用協議会」(下川町、足寄町、滝上町、美幌町の4町で構成)と「森林づくりパートナーズ基本協定」を調印いたしました。

この協定により、当社営業車の年間排出量の25%に当たる約50tのCO2を協議会とオフセットすることになりました。

なお、当社が拠出した資金は4町が行う町有林間伐の資金に当てられ、森林の適切管理によるCO2吸収量の増大を目指す取り組みに役立てられることとなります。

【サンタの森づくりパートナーズ基本協定を調印】

平成24年10月15日、広尾町と「サンタの森づくりパートナーズ基本協定」を調印しました。この協定により当社(札幌本社)の来年度分の電気使用量の一部(70,800kwh)から排出されるCO2(25t)をオフセットします。

なお当社が拠出した資金は広尾町の森林整備に役立てられることとなります。

【環境美化活動】

中道リースでは、「身近な環境を守る」を合言葉に周辺地域の清掃活動を行っています。

【エコキャップ運動の推進】

地球温暖化の進行が心配されている中、キャップを分別回収し再資源化を促進することにより、本来、焼却処分の際、発生するCO2の抑制に努めております。

また、NPO法人エコキャップ推進協会の活動(※)に賛同し、積極的に回収を行っております。

※リサイクル事業者へ回収したペットボトルキャップを売却し、得た収益をもって発展途上国の子供たちに感染症のワクチンを届ける活動。

【処分業者への臨検実施】

リース期間が満了し、止む無く廃棄となった物件の処分については、産業廃棄物委託会社の現地調査を実施、遵法制・リサイクル率等、多面的に評価し選定しています。

エコ検定・環境家計簿の推奨

当社は、全役職員の環境意識の啓蒙を目的として、eco検定の受験、環境家計簿の作成を推奨し、バックアップ体制をとっています。